

資料 4 ご質問に対する回答

●保安院に対する質問

柏崎刈羽原発の北西海域に連なる断層群の連動について、F-B断層を対象外するとの見解を報じた新聞記事（5月30日・新潟日報）の中に、小林室長の言として「専門家の意見を全て取り入れて厳しめに評価したら、とんでもないことになる。我々の工学的なジャッジが必要だ」とありました。

この発言について、2つお聞きします。

- ・「とんでもないことになる」とは、具体的にどうなることなのですか
- ・「工学的なジャッジ」とは、どのような内容なのですか

(回答)

- 「専門家の意見を全て取り入れて厳しめに評価したら、とんでもないことになる。我々の工学的なジャッジが必要だ」とは言っていない。5月29日の意見聴取会終了後の記者からの質問には、一般論として「連動については、いろいろな専門家の意見を聞いている。最終的に工学的な判断をする場合もある。」と答えています。

なお、工学的な判断とは、「地質・地質構造のような理学での判断のみならず、例えば、断層の単位変位量（1回のずれ量）から断層長さを求めるようなことも有る」ということです。